包括連携協定先

人々の健康増進及び持続可能な農業の発展を目指し、
全国各地の自治体・企業等と「金芽米」「米の精」などを
活用した取り組みを推進しています。

東北地方

令和 7年　秋田県美郷町、JA秋田おばこ
令和 8年　宮城県加美町、タカラ米穀株式会社
　　秋田県大潟村、大潟村カントリーエレベーター公社

北海道地方

令和7年　北海道上川町

中部地方

平成28年　JA全農長野
平成29年　JA大井川
令和 2年　山梨県北杜市
令和 5年　長野県南箕輪村、JA上伊那

中国地方

平成29年　JAしまね
平成30年　JA鳥取いなば
令和 5年　島根県安来市、JAしまね
令和 8年　広島県神石高原町、株式会社MSERRNT

関東地方

平成28年　東京農業大学
平成29年　東都生協
令和 元年　JAいるま野
令和 6年　茨城県つくばみらい市
令和 7年　埼玉県毛呂山町、JAいるま野
　　茨城県下妻市
令和 8年　神奈川県鎌倉市

近畿地方

令和 4年　大阪府泉大津市
令和 5年　大阪府田尻町
令和 7年　京都府亀岡市
令和 7年　和歌山県かつらぎ町
令和 8年　和歌山県みなべ町
　　滋賀県日野町、グリーン近江農業協同組合
　　和歌山県白浜町
　　奈良県三宅町
　　滋賀県多賀町
　　和歌山県湯浅町
　　和歌山県和歌山市
　　和歌山県すさみ町

四国地方

令和 7年　高知県香南市、高知食糧

九州・沖縄地方

令和 6年　熊本県人吉市
令和 7年　福岡県香春町
　　福岡県久山町
　　宮崎県新富町
　　宮崎県学校給食会、JA ARUniCo

※令和8年6月末時点

東洋ライスは創業以来、「石抜き機（無石米）」で食生活の向上、「BG 無洗米」で海や河川などの環境改善、「金芽米」や「金芽ロウカット玄米」で人々の健康増進を目指して参りました。このように、東洋ライスは SDGs（持続可能な開発目標）が制定される以前から、その理念を牽引する技術を生み出しております。「持続可能な社会を目指そう。」というスローガンは、これまでとこれからの東洋ライスの技術に込められた DNA とも言えるものです。

東洋ライスが皆様と共に貢献してきた「SDGs」14 項目

R8.6

ECO FIRST 環境大臣認定
エコ・ファースト企業
業界初の（エコ・ファースト企業）として環境大臣より認定を受けました。

TOYO

Corporate Profile
会社案内

人も自然もすこやかに
東洋ライス

平成 25 年に完成した「超高効率」のリンクウ工場

昭和 37 年当時の生産風景

「トーヨー撰穀機」1 号機

社　是

技術を創造し、広げ、
社会に高度の貢献をしよう。
思いやりと信頼で、
温かい人間関係を築こう。
向上心を磨き、
未来に夢と希望をもとう。

社是に則り…

われわれは、ただ一回きりの招待を受けて現世にやってきたといえましょう。従って、一度しかない人生だから、可能な限り有意義に且つ幸せに過ごしたいものです。それには、社会に高度の貢献をしているという充実感に満たされることが不可欠の要件だと考えています。

ところで、当社は昭和 36 年の創業以来、コメに関する分野で、技術開発一筋に歩んでまいりました。

わたくしは、企業の目的の第一は、その企業活動を通じて社会に貢献することだと思っています。

従って合併後の当社は、「お米に関する総合メーカー」として、日本のコメに環境と健康という新しい付加価値を創り、環境浄化と、国の医療費の削減、及び生産者から消費者に至る全ての人に、健康と利益をもたらす技術を創造して参りました。一方、当社の利潤は社会に対する貢献度に応じて、その褒賞として授かるものだと考えています。

そして、第二としては、人づくりであると思います。人間は学校で学んできたからといっても、単に学問的な知識を持っているに過ぎません。社員を立派な社会人に育てるということも、重要な企業の目的だと考えております。

当社はこれからも、社会よりその存在意義を高く評価されることを目指して努力してまいる所存です。

創業者
雜賀　慶二

会社概要

会　社　名	東洋ライス株式会社
会社設立	昭和 36 年(1961 年)
資　本　金	100,000,000 円
従　業　員	230 人
事　業　所	銀座本社　〒104-0061 東京都中央区銀座 5-10-13 Tel.03(3572)7550
	和歌山本社　〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田 12 Tel.073(471)3011
	東日本支店　〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4-11-10 Tel.03(3557)3011
	仙台営業所　〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央 1-40-4 Tel.022(375)0111
	サイタマ工場　〒350-0269 埼玉県坂戸市にっさい花みず木 7-5 Tel.049(288)4700
	リンクウ工場　〒598-0093 大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北 5-8 Tel.072(466)3011
	二本松工場　〒964-0812 福島県二本松市関 44 Tel.0243(22)8200
	和歌山工場　〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田 12 Tel.073(471)3011

事業内容

●総合食品加工機器製造販売事業、光学電子機器、農業機器の技術開発と製造販売事業及び、プラントエンジニアリング事業
●金芽米、金芽ロウカット玄米、ＢＧ無洗米の製造・販売・輸出事業
●コメの受託加工事業
●米加工品事業　●炊飯指導事業　●米粉事業　●発電事業
●環境と美味に配慮した稲作の土作り事業、新品種の種籾事業
●機能性米による日本のコメ農業の活性化事業
●玄米の要部を抽出した新素材による健康推進事業

主要商品

●BG 無洗米、金芽米、金芽ロウカット玄米、無菌包装米飯
●電子色彩選別機、粉粒体搬送機、自動石抜機、全自動精米機等の精米機器全般
●フレコン充てん装置、こめびつ方式タンクシステム等のコメ流通改善装置
●味度メーター、とう精度計等の測定機器
●金芽米エキス、玄米エッセンス等の玄米の要部抽出素材

沿　革

昭和 36 年	・わが国の近代精米工場の幕開けとなった「トーヨー撰穀機」発表。株式会社東洋精米機製作所を設立
昭和 41 年	・世界初の全自動精米機(コントロール精米機)等を発表
昭和 43 年	・世界初の新方式による全自動計量包装機（ストレートパッカー）を発表
昭和 57 年	・世界初の新方式による電子色彩選別機「カラー選穀機」、穀類輸送機「トーヨーエレコン」を発表
昭和 62 年	・業界初の米穀食味向上システムを発表
平成　2 年	・「トーヨー味度メーター」を発表
平成　3 年	・「BG無洗米」を発表
平成　7 年	・高精度異物選別機「トーヨースーパーセレクター」を発表
平成　9 年	・超高速全自動計量包装機「東洋ロータリーパッカー」、ガラス選別機「スーパーカラセン」を発表
平成 12 年	・新米の食味をそこなわずに長期保存を可能にする「エコ・グリーン・カプセル」を発表
平成 14 年	・埼玉県坂戸市に「東洋ライスサイタマ工場」が完成
平成 16 年	・米専用の空気輸送装置「トーヨーソフトニューマ」を発表 ・即日精米・即日出荷を可能にした「LSP システム」を発表
平成 17 年	・「金芽米」を発表
平成 20 年	・「歩留まり向上、並びに食味向上システム」を発表
平成 21 年	・精米工場が儲かるシリーズ第1弾「エコ包装パッカー」、第2弾「新型色彩選別機」を発表
平成 22 年	・精米工場が儲かるシリーズ第3弾「新型石抜機」、第4弾「新型計量包装機」を発表
平成 25 年	・トーヨーライス株式会社を吸収合併して社名を東洋ライス株式会社に変更 ・「東洋ライスリンクウ工場」を完成
平成 26 年	・体験型環境教育推進プログラム「いきものみっけファーム」が文部科学省「青少年の体験活動推進企業表彰　審査委員会奨励賞」受賞
平成 27 年	・「金芽ロウカット玄米」を発表 ・「第 24 回地球環境大賞　環境大臣賞」受賞 ・精米工場が儲かるシリーズ、色彩選別機「XCA TYPE3」を発表 ・「世界最高米」事業を開始 ・「金芽ロウカット玄米ごはん」を発表
平成 28 年	・精米工場が儲かるシリーズ、新型「高性能石抜機」を発表 ・「世界最高米」が「最も高額な米」として「ギネス世界記録®」に認定
平成 29 年	・医療費削減に向けたヘルスケア事業の取り組みをスタート ・シンガポール政府より金芽ロウカット玄米が健康に良い食品として認定(Healthier Choice Symbol) ・日本健康医療学会より「健康医療アワード」を受賞
平成 30 年	・慢性腎臓病患者向け商品として「たんぱく質を抑えた金芽ロウカット玄米ごはん」を発表 ・環境大臣より「エコ・ファースト企業」に認定 ・「無洗米未来サミット」を開催
平成 31 年 (令和元年)	・世界初、糠を活かした米粉事業を開始 ・日本企業初、SDGs 貢献活動を国連で発表
令和 2 年	・「酵素金芽米」シリーズ発表 ・「金芽米エキス」を発表
令和 3 年	・創立 60 周年記念事業として、新たな3大SDGs事業の発表 ・様々な食品に玄米の栄養価を付与する「玄米エッセンス」を発表
令和 4 年	・「金芽米の米粉」「金芽ロウカット玄米の米粉」を発表
令和 5 年	・金芽ロウカット玄米が「第 41 回食品ヒット大賞 優秀ヒット賞」受賞
令和 6 年	・「金芽米の米粉 モフっと食感のお好み焼粉」を発表 ・金芽ロウカット玄米が「科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(技術部門)」受賞
令和 7 年	・東洋ライスが「日本食品保蔵科学会・第 74 回大会産業技術功労賞」受賞 ・自治体が無料利用できるコワーキングスペース「Ginza Wellness Hub」を開設
令和 8 年	・取締役会長に雜賀慶二が就任、代表取締役社長に阪本哲生が就任

<自治体・企業等との包括連携協定については裏面に掲載>

※「金芽」「金芽米」「ロウカット玄米」は東洋ライス株式会社の登録商標です。